



読者訪問

当社取引先の方をはじめ、読者の方にご登場いただき、ご紹介させていただきます。

第194回

株式会社こだま印刷所

製造業からの脱皮

～プロモーション事業を通じて“企画会社”への転身を～

今回は厳しい業界環境の中で、次に向かって新たな戦略の構築を進めておられる(株)こだま印刷所の児玉社長をお訪ねしました。



児玉社長

印刷機を回すだけの印刷会社からの脱皮

ネット印刷(プリントパックやラクスルなど)やスマホアプリの台頭で近年印刷業界は大変厳しい経営環境にさらされています。廃業なども相次ぐ中で各社は生き残り戦略を模索しています。そんな中で同社も印刷だけではなくWeb制作、映像制作、デザイン、出版、広告代理業などいろいろな事業にチャレンジしてこられました。しかしながらいずれも他社も同様な展開を模索しており価格競争も否めません。

そこで、自社の強みとはなにかと自問自答されました。長年、本や定期刊行物(会報誌など)の制作を通じて、顧客の組織の状況や歴史を熟知しています。紙面作りの過程で顧客も気づかないような提案を行ってきました。客先の担当者が変わっても「一番様子を分かっているのはこだまさんとこや」と言われることも少なくないことに気付きます。効率化を追い求めても無理。需要が発生する前が勝負!と顧客との信頼関係をもとに需要の掘り起こしをして企画提案をしていくことに注力されました。

プロモーション事業を核に

「何ができるか(手段)」ではなく、「どう解決するか(企画提案)」に重きを置く「プロモーション事業」をこれからの事業の核に据えようと事業ドメインのハンドルを切りはじめました。

「これを作ろう」という需要が発生する前の「困りごと」の段階で関わり、企画提案を行うことが最も重要な仕事だとおっしゃいます。こんなパンフレットを作ろうという前にニーズをつかむ、困りごとをいち早くキャッチして提案に持っていく。そんな上流工程での仕掛けこそ顧客と深く関わってきたからこそできることです。



スタジオの風景

企画段階から深く関わることで、他社との単純な価格比較(相見積もり)をさせない関係性を築くことができる、まさに歴史と信頼に裏打ちされた「強み」だと思えます。

20名近くの社員の中で直接印刷に関わるのはたったの2名。あとはデザイナーや企画・コンサル要員。新卒採用も積極的に行い、『企画会社』への転換を進めておられます。単なる下請けの製造業ではなく、顧客のプロモーションを総合的にサポートする企業としてのこだま印刷さんの将来に期待して会社をあとにしました。(米田)

会社概要
株式会社こだま印刷所

お話を伺った方 代表取締役 児玉 国人 様
会社の所在地 〒604-8455 京都市中京区西ノ京藤ノ木町16
電話番号 TEL 075-841-0052 FAX: 075-811-7873
URL <https://www.kodamap.co.jp>
事業内容 デザイン、印刷、出版、Web制作など

Profile

編集後記

総選挙だ、オリンピックだと慌ただしい2月でした。そしてまた厳寒の2月でもありました。通常の月より日数が短く、祝日も2日ある2月、あっという間に過ぎてしまった感じがします。3月になると年度末。またまた慌ただしく過ぎていくのかも知れません。忙しさに紛れてやらなければならないことの優先順位を見失わないようにしたいものです。

[Sys:port]. リスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16
Tel.0774-63-1131(代) Fax.0774-63-1130
<https://www.sysport.co.jp>



【サポート】情報提供機関誌

info
キューインフォ

このQ-infoは、お取引先様をはじめサポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、サポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の要否などは添付のReplyシート(QRコードからのWebフォーム)でお聞かせ下さい。

2026年3月発行

第219号

SINCE 2008.1



【わが家のサンドイッチ騒動】

こんにちは! システム開発部の山田です。

先日、2歳になる娘が『おさるのジョージ』の影響を受け「サンドイッチ作りたい!」というので材料を用意一緒に作ってみました。

小さな手で一生懸命たまごサラダをパンに塗ったり、具材を乗せたりする姿は、大変微笑ましいものでした。

普段はパンの耳は落とさずそのまま食べてるのですが、その日はせっかくなので耳も落として、それっぽく感じに仕上げました。

残った耳どうする?ということで、油で揚げ、砂糖をたっぷりまぶしてみました。

想像通りのうまさで妻と娘と3人でパクパクと食べ進めていたのですが、完食した直後に異変が。

少なめの油で揚げてはいたのですが、耳がほぼすべての油を吸収しており……。

2歳の娘がピンピンしている横で、妻と私は揃って猛烈な胸焼けに襲われ、しばらく動けなくなるという情けない結末に……。

皆さんも、パンの耳を揚げるときにはどうぞご注意ください!

システム開発部 係長 山田 耕大

“一丁囃”が行く!

第204回: 阪急京都線2300系電車



一昨年7月、阪急京都線に新しい特急車両2300系が、阪急初めての座席指定車両「PRIVACE」を組み込んでデビューしました。そしてその後8両編成12本分が現在も順次投入されています。

この2300系、実は2代目となります。初代2300系は1960年(昭和35年)から1967年(昭和42年)にかけて京都線に投入された車両で、特急や急行用として活躍しました。

私の学生時代、通学のためにいつも河原町・淡路間を2300系急行に心地よく乗っていました。

旧2300系は鉄道友の会の第1回ローレル賞を受賞するなど名車として活躍しましたが2015年3月に50年近く走り続けて現役を引退しました。

この旧2300系には特筆すべき特徴がありまし

た。それは当時の最新技術を取り入れた定速運転機能を備えていたことです。

定速運転とはある操作をすることで一定の速度で走行できる、いわば自動車のクルーズコントロールに相当する機能です。

今では京阪特急8000系をはじめ、JRや他の私鉄でも採用されている機能ですが、コンピュータ制御などがそんなに発達していなかった時代にかなり先進的な機能を搭載した車両で「人工頭脳電車」とも呼ばれていました。(一丁囃)



旧2300系 新2300系

お願い

Replyシートの回答をお願いします。

本誌を紙ベースでお送りしている方には、紙ベースのReplyシートを添付しております。

また、メールでお送りしている方にはメール本文に記載しています。

また、右のQRコードからも回答できるようになりました。

Q-infoの制作、編集の励みにもなりますので、是非とも皆様方のご意見、ご感想、ご意向などをお聞かせ下さい。



Windowsの「Snipping Tool」が進化！ 業務を効率化する4つの活用術と設定手順

Windows標準アプリ「Snipping Tool (スニッピングツール)」が、AI連携や動画編集機能を搭載し、今やビジネスに欠かせない万能ツールになっています。

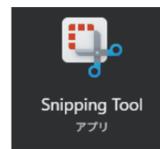
今回は、意外と知られていない**4つの新機能**とその**具体的な操作手順**を徹底解説します。
もはや「スクリーンショットを撮るだけ」の時代は終わりました！

1. 動画をサクッと「GIF」に変換

操作説明をする際、動画ファイル (MP4) を送るほどではないけれど、動きを伝えたいときに便利なのが「GIF」作成機能です。

【操作手順】

1. 起動: Win + Shift + S を押すか、検索窓から「Snipping Tool」を起動します。(画像①)
2. モード選択: 上部のメニューから「ビデオカメラ (録画)」アイコンを選択し「新規」をクリック。
(Win + Shift + Sで起動した方は手順3へ)
3. 録画開始: 記録したい範囲をドラッグで囲み、「スタート」を押します。
4. 変換: 録画終了後、プレビュー画面上部の形式選択で「GIF」を選びます。(画像②)



【画像①】



【画像②】

5. 保存: 保存アイコン (フロッピーディスク型) を押せば完了です。
※30秒以内の動画なら、画質 (高・低) を選んで軽量のGIFとして書き出せます。

2. 画像から「表データ」をExcelにそのまま貼り付け

PDFやWebサイト上の「コピーできない表」を、手入力せずにExcel化できる機能です。

【操作手順】

1. 撮る: 表が含まれる範囲を通常通りスクリーンショットします。
2. 認識: 編集画面上部の「テキストアクション」をクリック。
3. 表としてコピー: 文字が認識された後、「表としてコピー (Copy as table)」をクリックします。(画像③)
4. 貼り付け: Excelを開き、Ctrl + V で貼り付けると、セルの枠組みを維持したままデータが入ります。(画像④)

※精度は高くないので多少の手直しは必要です。



【画像③】

	A	B	C
1			
2		【サブスク型】クラウドサービスB社	はんばいQ
3		150,000円	450,000円
4	初期費用	比較的安価なので手軽に始められる	カスタマイズを含めると高額になりやすい
5		△ 月額70,000円	△ 月額7,000円
6	ランニングコスト	年間840,000円が継続的にかかる	カスタマイズを含めると高額になりやすい
7		△ 月額70,000円	継続への負担が少なく長く使える
8		システムのアップデート	△ 常時アップデートはない
9		△ アップデートは自動で行われる	△ 常時アップデートはない
10		常に最新バージョンを使用できる	△ 常時アップデートはない
11		△ カスタマイズが難しく業務に合わせにくい	△ 業務に合わせたカスタマイズが可能
12		△ 不要な機能がついてくる	△ プライベートクラウドで遠隔操作が可能
13	使いやすさ	△ ネット環境があればどこでも利用可能	△ プライベートクラウドで遠隔操作が可能
14		△ サポートはメールのみ	△ メール・電話・訪問・リモートでサポート
15		△ サポートの対応が遅い場合がある	△ 顔が見えるサポートで安心
16	保守・サポート	△ サービス終了リスクがある	
17			
18			
19			
20			
21			
22			

【画像④】

3. AI (Copilot) に画像の中身を解説してもら

エラー画面や英語の資料などをスクショして、そのままAIに相談できる連携機能です。

【操作手順】

1. クイックマークアップ: 機能がOFFならクリックしてONにします (画像⑤)
2. 撮る: 分からない箇所をスクリーンショットします。
3. AI起動: メニューに表示されている「Copilot」アイコン をクリックします。
4. 質問: 自動的にCopilotが起動し、画像が添付されます。
「このエラーの解決策は?」など入力するだけで回答が得られます。(画像⑥)



【画像⑤】



【画像⑥】

※Bing検索もできるので商品のスクショなどはBing検索で商品ページまでたどり着くことも出来ます。

【重要】新機能が表示されない場合は?

これらの機能は、Windows 11の最新アップデートで順次追加されています。
「アイコンが出てこない」という方は、以下の手順でアプリを更新してください。

1. Microsoft Store を開く。
2. 左下の「ライブラリ」をクリック。
3. 「更新プログラムを取得する」を押し、Snipping Toolを最新の状態にする。

おわりに

Snipping Toolを使いこなせれば、これまで「手入力」や「別アプリでの加工」にかけていた時間を大幅に短縮できます。ぜひ、今日からの資料作成や情報共有に役立ててみてください！

補足

Snipping Toolについては過去のQ-infoで2回取り上げております。
基本的なことから知りたいと思われる方は是非以前の記事をご参照下さい。
シスポートのホームページ (<https://www.sysport.co.jp/>) では、Q-infoのバックナンバーを検索することが出来ます。
ページ上部のタブから「**コラム・Q-info**」のページに行き、その検索窓で「**snipping**」と入力してみてください。



Q-info 2023年5月号 (第185号)



Q-info 2023年12月号 (第192号)

